# 文書共有システムの検証・確認結果について

## 1 実施状況

# 会議の運営方法(原則)

紙を配付して会議を進める。補完としてタブレット等を使用する。

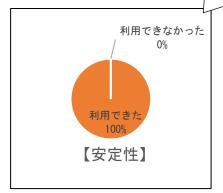
実施会議	回数	実施時期
幹事長会議	2	11/22、12/12
議会運営活性化推進協議会	3	11/20、12/13、1/25
広報委員会	2	11/27、1/10※
計	7	

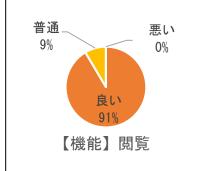
※事務局も含め、タブレット等のみで実施(シナリオは除く)

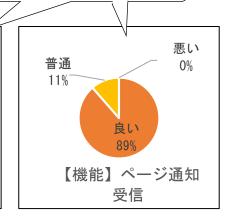
機能の使い勝手はどうか

システムやネットワークに不具合な く、安定的に利用できたか

2 検証・確認結果







## 3 今後について

#### (1)会議でシステムを使用する上での主な留意点等

事務局	議員		
①会議の進め方			
どの資料のどこを話しているのか分かるように発言する。			
(例えば、資料番号を伝えた後、少し様子を見るなど)			
②資料の作り方	③個人所有端末の持参		
できるだけ複数資料を閲覧しないで済む	個人所有端末を保有している議員は、で		
ような資料を作成する。	きるだけ持参して会議で使用する。		

#### (2) 次回以降実施していくこと

- ①既に試行運用している会議については、タブレット等を中心とした議事運営に移行 していく。
- ②システムを使っていない会議にも試行運用を拡大していく。